資料3

各市町村を対象とした手話の普及に関するアンケート結果

1 「手話の普及」について

【問1】市町村民に向けて手話を普及する取組みをしていますか？

回答項目	回答数
はい	30
いいえ	3

【問2】どのような取組みをしていますか？（複数回答可）

回答項目	回答数
広報誌への掲載	5
リーフレットの作成・配布	3
手話動画の作成・配信	1
市町村民向け手話講習会	10
手話奉仕員養成講習会	27
手話通訳者養成講習会	12
手話に関するイベントの開催	3
そのほか	1

【問3】（問2で「いいえ」と回答した場合のみ）
手話を普及する取組みをしていない理由をお聞かせください。（複数回答可）

回答項目	回答数
ほかの業務が多忙	0
手話を普及する効果的な方法がわからない	2
予算がない	1
そのほか	1

2 「市町村が県と連携した手話講習会」について

【問4】平成31年度に市町村と県が連携した手話講習会の開催予定または開催を検討する予定はありますか？

回答項目	回答数
ある	7
ない	26

【問5】「市町村と県が連携した手話講習会」の開催を予定していない場合、開催が難しい理由をお聞かせください。（複数回答可）

回答項目	回答数
既に一般向け手話講習会を開催している。	8
手話奉仕員養成講座などの養成講座を実施しており、手話講習会まで開催できない。	10
他業務で多忙	12
そのほか	5

【問6】「市町村と県が連携した手話講習会」を開催する場合、どのような条件があれば、
開催しやすいと考えますか？

○ 実際の講習会の流れをご例示いただけると、イメージしやすいです。
○ まず、一般市民向けではなく、市町村職員対象の手話通訳事業周知を含めた講習会を開催してほしい。
また、地域の聴覚障害者団体や、手話サークルとの連携も必要と考える。
○ 初級基礎講座が40回、中級が15回、上級15回を実施しており、市の金銭的及び人的負担が可能な範囲で既に実施している。1回程度の普及啓発イベントで、会場確保や広報の協力程度のみであれば、開催可能。
○ 対象者に行政職員も含む。
○ 本市は、公共施設で様々なイベントや講習会を行っており、一定期間の会場確保が困難な状況です。
県の施設を優先的に使用できれば開催しやすくなると思われます。
○ 対象者を狭める、複数回での開催（単発は厳しい）
○ 町の消防救急・災害担当部署の職員向けに手話講習会を行う。

３ 「市町村イベント」について

【問7】貴市町村で開催される市町村民対象のイベントのうち、手話と連携できる可能性のある
イベントはありますか？

回答項目	回答数
ある	12
ない	5
わからない	16